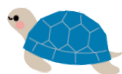


今年の課題図書



『ライスボールとみそ蔵と』 横田 明子／作 塚越 文雄／絵 (絵本塾出版)



ジュンの家は、みそ屋さん。古い蔵でおじいちゃんとお父さんが手作りでみそを作っています。でもジュンは、古くさいみそ屋がいやでした。でもある時ロンドンからの転校生ユキちゃんに「蔵を見せてほしい」と言われて…。

『フードバンクどろぼうをつかまえろ!』 オンジャリ Q. ラウフ／著 千葉 茂樹／訳

スギヤマ カナヨ／絵 (あすなろ書房)

おなかをすかせた人たちをすくってきたフードバンク(食べ物銀行)で、何かがおきている。悪いやつらに食べ物をぬすまれているようだ。そこで、フードバンクを利用しているネルソンは、友達ときょうりよくしてひそかにちょうさしはじめます。



『化石のよぶ声がきこえる』 ヘレイン・ベッカー／作 サンドラ・デュメイ／絵



木村 由莉／訳・監修 (くもん出版)

ウェンディは、ちょっと特別な目をもつ女の子。すてきな物をさがしだす事ができるのです。12さいの時、遠足で見つけた化石が始まりで次々と化石を見つけ、ある日なんと何千年前のきょうりゅうの化石をはっけんしたのです。

『給食室のいちにち』 大塚 菜生／文 イシヤマ アズサ／絵 (少年写真新聞社)

午前7時30分、小学校の給食室のいちにちがはじまります。えいようしやちょうりいは、まず体のちょうしをチェックして、みじたくをととのえます。そしてつめの先までていねいにあらうのです。時間のながれとともに、給食室についてのしくまなびます。



過去の課題図書



2022年

『みんなのためいき図鑑』 村上 しいこ／作 中田 いくみ／絵 (童心社)

『チョコレートタッチ』 パトリック・スキーン・キャトリング／作 佐藤 淑子／訳

伊津野 果地／絵 (文研出版)

『111本の木』 リナ・シン／文 マリアンヌ・フェラー／絵 こだま とこ／訳

(光村教育図書)

『この世界からサイがいなくなってしまう』 味田村 太郎／文 (学研プラス)



2021年

『わたしたちのカメモシズかん』 鈴木 海花／文 はた こうしろう／絵 (福音館書店)

『ゆりの木荘の子どもたち』 富安 陽子／作 佐竹 美保／絵 (講談社)

『ぼくのあいぼうはカモノハシ』 ミヒヤエル・エングラ／作 杉原 知子／絵

はたさわ ゆうこ／訳 (徳間書店)

『カラスのいいぶん』 嶋田 泰子／著 岡本 順／絵 (童心社)



2020年

『青いあいつがやってきた!』 松井 ラフ／作 大野 八生／絵 (文研出版)

『ねこと王さま』 ニック・シャラット／作・絵 市田 泉／訳 (徳間書店)

『ポリぶくろ、1まい、すてた』 ミランダ・ポール／文 エリザベス・ズーノン／絵

藤田 千枝／訳 (さ・え・ら書房)

『北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと』 中山 由美／文・写真

秋草 愛／絵 (学研プラス)